

第2次松原市産業振興ビジョン（素案）に係るパブリックコメントの実施結果について

1. 意見募集期間

平成31年2月8日（金）から平成31年3月8日（金）

2. 意見の提出方法

郵送、ファクシミリ、電子メールまたは直接持参

3. 意見提出者

2名

4. 意見総数

2件

対応の内容		件数
A	意見を反映し、案を修正したもの	0件
B	意見の趣旨が既に案に盛り込まれているため、案のおりとしたもの	0件
C	意見の反映はせずに案のおりとし、今後の市政の参考とするもの	2件
D	他の制度や政策等に関係するなど、案と直接関係がないため掲載しないもの	0件

5. 実施結果

第2次松原市産業振興ビジョン（素案）についての変更はありません。

6. 意見の公表方法

産業振興課窓口、1階情報コーナー、市ホームページへの掲載

提出された意見の概要とそれに対する市の考え方は以下のとおりです。

C. 意見の反映はせずに案のとおりとし、今後の市政の参考とするもの

意見の概要	
1	<p>交通利便性の向上について、現在、天美（三宅）と新堂エリアに大型商業施設の建設が進められており、また、市外でも隣接する美原区や藤井寺市にも大型商業施設が作られます。これらの施設が完成すれば、市外から多くの人が松原市を通ることになります。しかし、昨年が発生した近鉄南大阪線の橋梁異常が起きた際は、大體交通手段の不足が深刻な問題となりました。</p> <p>そこで、市の中心駅である河内松原、河内天美両駅から近鉄南大阪線以外の他路線へ乗り入れるバス路線の強化を提案します。例としては、松原市域まで路線が伸びているものの駅まで乗り入れていない大阪シティバス、北港観光バスの路線を河内松原、河内天美駅に乗り入れさせます。また、大阪シティバスの三宅中停留所を移設し、府道 176 号から府道 26 号を經由して河内天美駅方面へ向かわせることで、河内天美駅から大阪メトロ喜連瓜破、平野駅や大阪シティバス 5 系統の起点であるあべの橋までつながり、近鉄南大阪線の補完ルートになるほか、天美地区で建設が進められている大型商業施設へのアクセス手段にもなり得ます。さらに、大阪シティバス 33 系統が松原市内でも公共交通が希薄な大堀、別所、松ヶ丘を通過して河内松原駅へ乗り入れることで、地域住民の利便性向上に役立ちます。これらの路線の延伸による利便性の向上と近鉄南大阪線の補完という効果は非常に大きく、かなりの利用が見込めると思います。</p> <p>また、ぐるりん号についても、一乗車一律 100 円程度の利用者負担で可能ならば、土休日の運行を行うべきと考えます。路線についても、近鉄バス大堀線の廃止代替という理由があるにせよ、北ルートは河内天美駅に直接乗り入れているのに対して、西ルートは乗り入れないことやゆめニティプラザ周辺のバス停位置がややこしいなどの改善点が多いと感じます。ゆめニティプラザについては、河内松原駅前のロータリーが余裕のある状態にもかかわらず、ゆめニティプラザ南バス停はゆめニティまつばらの裏にあって分かりづらく、ゆめニティプラザ東バス停は更に遠い位置にあります。そこで、ゆめニティプラザ東のバス停はイズミヤの利用者が多いため、分離独立の上、駅前ロータリーにおいて、土曜日に週 1 便しかない 2 番乗り場発の近鉄バス便を 3 番乗り場発に変更し、2 番をぐるりん号用の発着場を置けばかなり分かりやすくなると思います。</p>
回答	
	<p>本ビジョンにおきましては、本市の交通面の利便性を活かした施策を進めてまいります。いただいたご意見につきましては、担当部署にお伝えし、今後の市政の参考としてまいります。</p>

意見の概要	
2	<p>東京都大田区で実践されている「おおた高齢者見守りネットワーク（みま～も）」をモデルとした取り組みはどうでしょうか。</p> <p>その中で、下記の5点を目標に考えました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①地域で活用できる潜在能力を持った職業人の活躍の場を創る。</li> <li>②商店街や商業施設等の空きスペースを活用し、人の流れを創る。</li> <li>③住民の未来への安心・安全を提供し、自助力向上をめざす。</li> <li>④社会貢献力の高い協賛企業の確保をめざす。</li> <li>⑤医療・介護・福祉の協力体制を見える化し、ヘルスケアへの住民の意識向上をめざす。</li> </ul> <p>※「高齢者見守りネットワーク」</p> <p>医療・保険・福祉分野の専門職、民間企業、行政、地域の高齢者の安心・健康をテーマに、地域住民の見守り・支えあいによる「気づきのネットワーク」及び医療・福祉・介護専門職による「支援のネットワーク」との連携により、安心して暮らし続けられる地域づくりとしての仕組み。</p>
回答	
	<p>本ビジョンにおきましては、商店会等の地域コミュニティとしての機能の確立に向けた支援や空き店舗の活用に対する支援を行ってまいります。いただいたご意見につきましては、担当部署にお伝えし、今後の市政の参考としてまいります。</p>